

# アンケート調査からみた経営概況

## 1 経営者の景況感と今後の景気見通し (集計表 P30、P31 参照)

### 現在の景況感

自社業界の景気について、「好況である」とみる企業は0.6%、「不況である」が85.7%で、景況感DI(「好況である」-「不況である」の企業割合)は 85.1となった。

前期(90.4)に比べると、5.3ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。

数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、DIを算出すると±0.1ポイントの範囲で差異の生じるものがある。

### 業種別にみると・・・

#### 製造業

景況感が「好況である」とみる企業は0.6%、「不況である」が84.7%で、景況感DIは 84.0となった。前期(90.8)に比べ6.8ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。

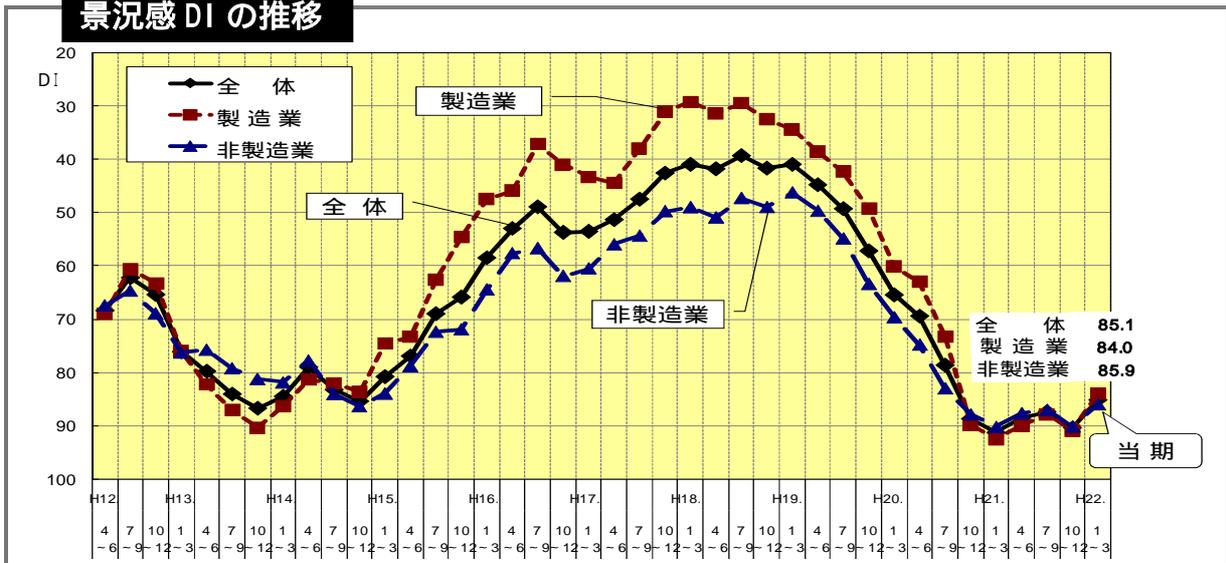
業種別にDI値をみると、「金属製品」が15.7ポイント上昇するなど、11業種全てが前期に比べ改善した。

#### 非製造業

景況感が「好況である」とみる企業は0.6%、「不況である」が86.5%で、景況感DIは 85.9となった。前期(90.1)に比べ4.2ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、「運輸業」が18.7ポイント上昇するなど、7業種中6業種が前期に比べ改善した。

### 景況感DIの推移

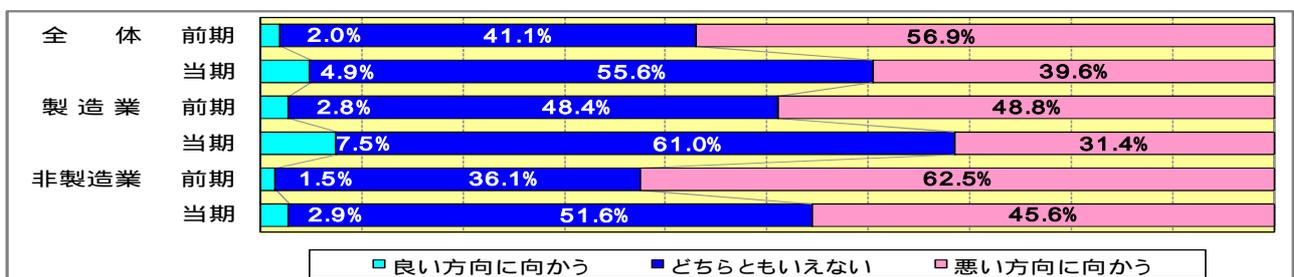


### 今後の景気見通し

今後の景気見通しについて、「良い方向に向かう」とみる企業は4.9%で、前期(2.0%)に比べ2.9ポイント増加し、「悪い方向に向かう」とみる企業は39.6%で、前期(56.9%)に比べ17.3ポイント減少した。

### 業種別にみると・・・

製造業、非製造業ともに「良い方向に向かう」は増加した。一方、「悪い方向に向かう」は製造業、非製造業ともに減少した。



## 景況感D I の推移

単位：DI

業 種	H21. 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	H22. 1～3月期 (当期)	対前期 増 減
<b>全 体</b>	<b>91.3</b>	<b>88.6</b>	<b>87.4</b>	<b>90.4</b>	<b>85.1</b>	<b>5.3</b>
<b>製 造 業</b>	<b>92.5</b>	<b>90.0</b>	<b>87.8</b>	<b>90.8</b>	<b>84.0</b>	<b>6.8</b>
食料品	74.6	66.7	60.7	87.5	83.6	3.9
繊維工業	91.8	90.4	89.3	93.2	88.2	5.0
家具・装備品	87.0	87.0	85.1	85.4	76.6	8.8
パルプ・紙・紙加工品	98.4	93.5	91.8	84.2	83.9	0.3
印刷業	94.1	96.3	91.1	98.2	88.1	10.1
プラスチック製品	98.3	96.4	85.2	92.5	88.1	4.4
鉄鋼業・非鉄金属	98.2	94.8	96.6	96.6	86.4	10.2
金属製品	95.5	88.1	87.9	92.9	77.2	15.7
電気機械器具	89.8	92.5	93.9	84.5	78.9	5.6
輸送用機械器具	98.5	94.4	96.4	94.6	94.4	0.2
一般機械器具	91.4	88.9	86.4	89.9	80.0	9.9
<b>非 製 造 業</b>	<b>90.2</b>	<b>87.6</b>	<b>87.0</b>	<b>90.1</b>	<b>85.9</b>	<b>4.2</b>
<b>建 設 業</b>	<b>94.1</b>	<b>92.8</b>	<b>89.4</b>	<b>93.7</b>	<b>90.8</b>	<b>2.9</b>
総合工事業	94.6	93.5	89.1	94.4	91.8	2.6
職別工事業	95.5	93.8	95.2	100.0	96.6	3.4
設備工事業	92.4	91.3	83.9	87.5	84.8	2.7
<b>卸 売 ・ 小 売 業</b>	<b>89.8</b>	<b>87.9</b>	<b>85.5</b>	<b>89.9</b>	<b>84.2</b>	<b>5.7</b>
(卸売業)	87.6	86.3	85.5	89.6	83.3	6.3
繊維・衣服等	100.0	95.8	96.2	96.3	96.6	0.3
飲食料品	75.9	70.0	68.0	80.8	57.7	23.1
建築材料・鉱物・金属材料等	92.0	92.9	88.5	96.2	83.3	12.9
機械器具	93.8	86.7	85.2	79.4	87.1	7.7
その他		89.5	92.3	100.0	89.3	10.7
(小売業)	92.1	89.3	85.5	90.1	85.0	5.1
繊維・衣服・身の回り品	100.0	94.4	86.7	90.7	93.5	2.8
飲食料品	96.3	81.3	85.3	95.0	82.9	12.1
機械器具	92.6	93.2	86.7	83.3	79.2	4.1
その他		86.8	82.8	91.3	87.5	3.8
<b>飲 食 店</b>	<b>87.5</b>	<b>94.7</b>	<b>95.3</b>	<b>97.6</b>	<b>90.5</b>	<b>7.1</b>
<b>情 報 サ ー ビ ス 業</b>	<b>86.8</b>	<b>80.4</b>	<b>82.5</b>	<b>85.7</b>	<b>79.7</b>	<b>6.0</b>
<b>運 輸 業</b>	<b>92.7</b>	<b>85.7</b>	<b>89.1</b>	<b>89.8</b>	<b>71.1</b>	<b>18.7</b>
<b>不 動 産 業</b>	<b>94.3</b>	<b>89.4</b>	<b>78.0</b>	<b>88.9</b>	<b>91.4</b>	<b>2.5</b>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>85.7</b>	<b>83.1</b>	<b>88.1</b>	<b>87.4</b>	<b>87.1</b>	<b>0.3</b>
専門サービス業	86.2	89.1	91.3	87.9	89.1	1.2
洗濯・理美容・浴場業	86.0	77.6	95.0	86.3	89.8	3.5
その他生活関連・娯楽業		76.0	88.6	83.7	77.5	6.2
その他の事業サービス業	84.9	88.7	80.4	90.9	90.0	0.9

## 2 売上げについて（集計表P32、P33参照）

### 当期（平成22年1～3月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」企業は15.0%、「減少した」企業は54.5%で、売上げDI（「増加した」-「減少した」の企業割合）は39.5となった。

前期（35.2）に比べ4.3ポイント低下し、4期ぶりに悪化した。

また、前年同期（69.8）に比べると30.3ポイント上回っており、3期連続で前年同期を上回った。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

売上げが「増加した」企業は20.3%、「減少した」企業は46.6%で、売上げDIは26.4となった。

前期（22.5）に比べ3.9ポイント低下し、4期ぶりに悪化した。

また、前年同期（76.6）を50.2ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、11業種中金属製品を除く10業種がマイナスとなった。前期比では、繊維工業、電気機械器具など4業種を除く7業種がマイナスとなった。

##### 非製造業

売上げが「増加した」企業は11.2%、「減少した」企業は60.1%で、売上げDIは49.0となった。

前期（44.0）に比べ5.0ポイント低下し、4期ぶりに悪化した。

また、前年同期（64.0）を15.0ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、7業種全てがマイナスであった。前期比では飲食店、不動産業の2業種を除く5業種がマイナスとなった。

### 来期（平成22年4～6月期）の状況

当期と比べ、売上げが「増加する」見通しの企業は18.8%、「減少する」見通しの企業は40.6%で、来期の売上げDIは21.8と見込まれている。

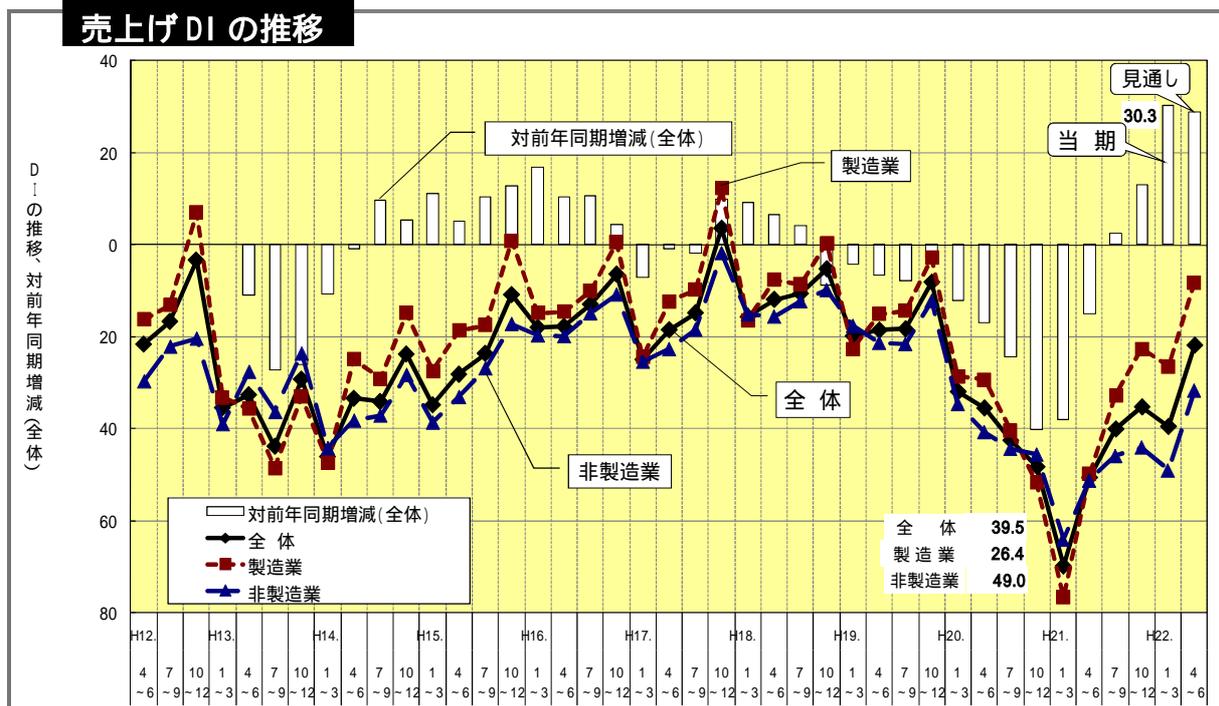
当期に比べると17.7ポイント改善する見通しである。

#### 業種別にみると・・・

製造業の来期の売上げDIは8.2で、当期に比べ18.2ポイント改善する見通しである。

非製造業の来期の売上げDIは31.6で、当期に比べ17.4ポイント改善する見通しである。

### 売上げDIの推移



## 売上げD I の推移

単位: DI

業 種	H21.	4～6月期	7～9月期	10～12月期	H22.	増 減		H22.
	1～3月期				1～3月期 (当 期)	対前期	対前年 同期	4～6月期 (見通し)
<b>全 体</b>	<b>69.8</b>	<b>50.6</b>	<b>40.0</b>	<b>35.2</b>	<b>39.5</b>	<b>4.3</b>	<b>30.3</b>	<b>21.8</b>
<b>製 造 業</b>	<b>76.6</b>	<b>49.8</b>	<b>32.6</b>	<b>22.5</b>	<b>26.4</b>	<b>3.9</b>	<b>50.2</b>	<b>8.2</b>
食料品	65.1	22.8	29.8	46.4	60.0	13.6	5.1	21.8
繊維工業	50.0	57.7	60.7	64.4	41.2	23.2	8.8	2.0
家具・装備品	76.1	65.2	65.2	37.5	46.8	9.3	29.3	41.3
パルプ・紙・紙加工品	69.8	54.8	57.4	19.3	50.8	31.5	19.0	1.6
印刷業	58.8	63.0	45.0	38.6	53.4	14.8	5.4	24.1
プラスチック製品	93.1	48.2	20.0	21.2	25.4	4.2	67.7	3.4
鉄鋼業・非鉄金属	92.9	42.1	6.8	1.7	1.7	3.4	91.2	6.9
金属製品	80.6	48.3	34.5	1.8	3.5	5.3	84.1	15.8
電気機械器具	71.2	48.5	25.8	20.7	5.7	15.0	65.5	7.2
輸送用機械器具	98.5	42.6	7.3	10.9	5.7	16.6	92.8	0.0
一般機械器具	77.6	56.3	16.7	21.7	12.3	9.4	65.3	17.2
<b>非 製 造 業</b>	<b>64.0</b>	<b>51.1</b>	<b>45.8</b>	<b>44.0</b>	<b>49.0</b>	<b>5.0</b>	<b>15.0</b>	<b>31.6</b>
<b>建 設 業</b>	<b>56.1</b>	<b>53.9</b>	<b>40.0</b>	<b>42.4</b>	<b>44.3</b>	<b>1.9</b>	<b>11.8</b>	<b>47.7</b>
総合工事業	58.9	47.5	52.7	52.8	36.7	16.1	22.2	42.9
職別工事業	59.1	62.5	44.3	51.8	54.2	2.4	4.9	47.5
設備工事業	50.8	51.5	25.0	25.4	40.9	15.5	9.9	51.5
<b>卸 売・小 売 業</b>	<b>68.7</b>	<b>55.2</b>	<b>48.0</b>	<b>47.1</b>	<b>54.9</b>	<b>7.8</b>	<b>13.8</b>	<b>27.3</b>
(卸売業)	64.5	55.0	39.0	33.3	46.2	12.9	18.3	24.8
繊維・衣服等	92.0	76.0	74.1	59.3	58.6	0.7	33.4	51.7
卸 飲食料品	44.8	6.9	0.0	11.5	51.9	40.4	7.1	14.8
卸 建築材料、鉱物・金属材料等	42.3	57.1	30.8	23.1	50.0	26.9	7.7	23.3
卸 機械器具	75.0	66.7	33.3	20.6	38.7	18.1	36.3	35.5
卸 その他		78.9	69.2	59.1	32.1	27.0		25.0
(小売業)	73.1	55.3	55.9	57.9	62.9	5.0	10.2	29.6
小 織物・衣服・身の回り品	85.2	36.1	55.2	54.8	74.2	19.4	11.0	48.4
小 飲食料品	92.9	50.0	58.8	61.0	73.2	12.2	19.7	19.5
小 機械器具	66.1	61.4	50.0	57.1	43.8	13.3	22.3	22.9
小 その他		71.1	62.1	58.7	66.7	8.0		33.3
<b>飲 食 店</b>	<b>70.8</b>	<b>57.9</b>	<b>60.5</b>	<b>62.8</b>	<b>52.4</b>	<b>10.4</b>	<b>18.4</b>	<b>21.4</b>
<b>情 報 サービス業</b>	<b>59.3</b>	<b>58.9</b>	<b>45.6</b>	<b>28.1</b>	<b>36.7</b>	<b>8.6</b>	<b>22.6</b>	<b>30.0</b>
<b>運 輸 業</b>	<b>87.3</b>	<b>45.6</b>	<b>38.9</b>	<b>22.4</b>	<b>37.8</b>	<b>15.4</b>	<b>49.5</b>	<b>2.3</b>
<b>不 動 産 業</b>	<b>63.5</b>	<b>55.3</b>	<b>41.7</b>	<b>54.7</b>	<b>50.8</b>	<b>3.9</b>	<b>12.7</b>	<b>43.9</b>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>56.8</b>	<b>40.4</b>	<b>48.3</b>	<b>43.5</b>	<b>49.0</b>	<b>5.5</b>	<b>7.8</b>	<b>29.7</b>
専門サービス業	56.1	58.2	34.8	31.0	27.3	3.7	28.8	45.5
洗濯・理美容・浴場業	60.0	20.4	58.5	64.7	69.4	4.7	9.4	33.3
その他生活関連・娯楽業		22.0	65.7	51.2	52.5	1.3		10.0
その他の事業サービス業	54.7	57.4	41.1	30.9	50.0	19.1	4.7	24.5

### 3 資金繰りについて (集計表P34、P35参照)

#### 当期(平成22年1~3月期)の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」企業は5.8%、「悪くなった」企業は43.7%で、資金繰りDI(「良くなった」-「悪くなった」の企業割合)は37.9となった。前期(42.6)に比べ4.7ポイント上昇し、4期連続で改善した。また、前年同期(59.5)に比べて21.6ポイント上回っており、2期連続で前年同期を上回った。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

資金繰りが「良くなった」企業は7.8%、「悪くなった」企業は39.0%で、資金繰りDIは31.2となった。前期(37.3)に比べ6.1ポイント上昇し、4期連続で改善した。また、前年同期(65.2)を34.0ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、11業種全てがマイナスとなった。前期比では、食料品、パルプ・紙・紙加工品など4業種を除く7業種がプラスとなった。

##### 非製造業

資金繰りが「良くなった」企業は4.3%、「悪くなった」企業は47.1%で、資金繰りDIは42.8となった。前期(46.2)に比べ3.4ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。また、前年同期(54.6)を11.8ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、7業種全てがマイナスとなった。前期比では、情報サービス業、運輸業の2業種を除く5業種がプラスとなった。

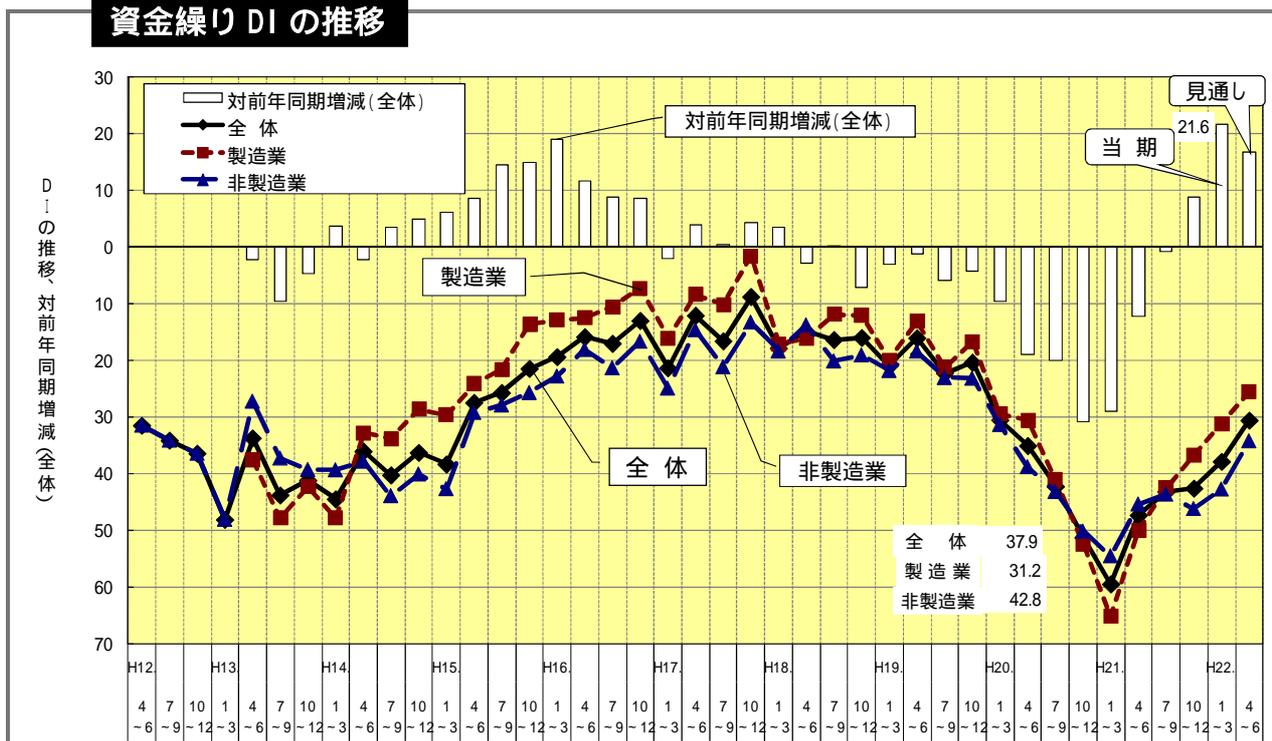
#### 来期(平成22年4~6月期)の状況

当期と比べ、資金繰りが「良くなる」見通しの企業は7.3%、「悪くなる」見通しの企業は37.8%で、来期の資金繰りDIは30.6と見込まれている。当期に比べると7.3ポイント改善する見通しである。

#### 業種別にみると・・・

製造業の来期の資金繰りDIは25.6で、当期に比べ5.6ポイント改善する見通しである。非製造業の来期の資金繰りDIは34.3で、当期に比べ8.5ポイント改善する見通しである。

#### 資金繰りDIの推移



## 資金繰りDIの推移

単位: DI

業 種	H21.	4～6月期	7～9月期	10～12月期	H22.	増 減		H22.
	1～3月期				1～3月期 (当期)	対前期	対前年 同期	4～6月期 (見通し)
<b>全 体</b>	<b>59.5</b>	<b>47.3</b>	<b>43.2</b>	<b>42.6</b>	<b>37.9</b>	<b>4.7</b>	<b>21.6</b>	<b>30.6</b>
<b>製 造 業</b>	<b>65.2</b>	<b>50.0</b>	<b>42.5</b>	<b>37.3</b>	<b>31.2</b>	<b>6.1</b>	<b>34.0</b>	<b>25.6</b>
食料品	50.0	28.6	25.0	26.0	43.1	17.1	6.9	11.8
繊維工業	61.2	40.0	54.5	58.1	34.7	23.4	26.5	32.0
家具・装備品	60.9	59.6	62.2	62.8	50.0	12.8	10.9	52.3
パルプ・紙・紙加工品	65.6	48.3	39.3	22.6	36.1	13.5	29.5	23.0
印刷業	52.0	51.9	58.5	50.0	54.4	4.4	2.4	35.7
プラスチック製品	73.7	52.7	26.4	35.3	26.3	9.0	47.4	21.1
鉄鋼業・非鉄金属	74.1	45.6	36.2	26.3	15.8	10.5	58.3	21.4
金属製品	63.6	53.3	50.9	39.3	23.2	16.1	40.4	28.6
電気機械器具	64.3	56.9	42.2	37.0	22.1	14.9	42.2	26.1
輸送用機械器具	87.7	57.7	38.2	22.6	23.5	0.9	64.2	17.3
一般機械器具	61.9	55.1	39.1	37.9	21.0	16.9	40.9	18.0
<b>非 製 造 業</b>	<b>54.6</b>	<b>45.4</b>	<b>43.7</b>	<b>46.2</b>	<b>42.8</b>	<b>3.4</b>	<b>11.8</b>	<b>34.3</b>
<b>建 設 業</b>	<b>54.9</b>	<b>50.8</b>	<b>40.9</b>	<b>47.6</b>	<b>44.4</b>	<b>3.2</b>	<b>10.5</b>	<b>48.1</b>
総合工事業	55.6	43.3	48.1	50.0	42.2	7.8	13.4	42.2
職別工事業	54.7	63.9	48.3	47.2	51.9	4.7	2.8	55.6
設備工事業	54.7	45.5	27.1	45.8	39.3	6.5	15.4	46.0
<b>卸 売 ・ 小 売 業</b>	<b>52.0</b>	<b>42.9</b>	<b>42.4</b>	<b>46.4</b>	<b>43.1</b>	<b>3.3</b>	<b>8.9</b>	<b>28.4</b>
(卸売業)	43.9	40.8	39.8	38.8	36.7	2.1	7.2	25.9
繊維・衣服等	65.2	60.0	56.0	56.0	48.1	7.9	17.1	50.0
卸 飲食料品	21.4	17.9	8.3	12.5	23.1	10.6	1.7	3.8
卸 建築材料・鉱物・金属材料等	44.0	39.3	44.0	42.3	37.0	5.3	7.0	18.5
卸 機械器具	51.6	40.0	34.6	25.0	35.5	10.5	16.1	25.8
卸 その他		52.6	69.2	63.6	39.3	24.3		29.6
(小売業)	60.5	44.8	44.7	52.5	49.0	3.5	11.5	30.7
小 織物・衣服・身の回り品	80.8	42.9	53.6	56.4	53.6	2.8	27.2	39.3
小 飲食料品	63.0	35.5	48.4	44.7	60.0	15.3	3.0	30.0
小 機械器具	59.6	44.2	43.2	57.5	43.5	14.0	16.1	30.4
小 その他		55.6	34.5	51.2	40.5	10.7		25.0
<b>飲 食 店</b>	<b>73.9</b>	<b>57.9</b>	<b>51.2</b>	<b>55.8</b>	<b>50.0</b>	<b>5.8</b>	<b>23.9</b>	<b>35.0</b>
<b>情 報 サ ー ビ ス 業</b>	<b>45.3</b>	<b>51.9</b>	<b>40.4</b>	<b>32.7</b>	<b>35.6</b>	<b>2.9</b>	<b>9.7</b>	<b>28.8</b>
<b>運 輸 業</b>	<b>68.5</b>	<b>50.0</b>	<b>43.6</b>	<b>31.3</b>	<b>34.1</b>	<b>2.8</b>	<b>34.4</b>	<b>23.3</b>
<b>不 動 産 業</b>	<b>55.3</b>	<b>48.9</b>	<b>34.9</b>	<b>52.9</b>	<b>49.1</b>	<b>3.8</b>	<b>6.2</b>	<b>46.4</b>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>50.7</b>	<b>37.6</b>	<b>49.7</b>	<b>48.5</b>	<b>41.7</b>	<b>6.8</b>	<b>9.0</b>	<b>31.7</b>
専門サービス業	61.8	45.5	52.3	44.6	25.9	18.7	35.9	38.2
洗濯・理美容・浴場業	55.8	21.3	52.6	71.4	65.9	5.5	10.1	34.9
その他生活関連・娯楽業		27.7	54.5	37.2	35.0	2.2		20.5
その他の事業サービス業	34.6	52.8	42.9	40.0	42.9	2.9	8.3	30.6

#### 4 採算について（集計表P36、P37参照）

##### 当期（平成22年1～3月期）の状況

当期と比べ、採算が「良くなった」企業は6.2%、「悪くなった」企業は54.7%で、採算DI（「良くなった」-「悪くなった」の企業割合）は48.6となった。前期（52.6）に比べ4.0ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。また、前年同期（71.4）に比べて22.8ポイント上回っており、3期連続で前年同期を上回った。

##### 業種別にみると・・・

###### 製造業

採算が「良くなった」企業は7.5%、「悪くなった」企業は49.8%で、採算DIは42.2となった。

前期（45.6）に比べ3.4ポイント上昇し、4期連続で改善した。

また、前年同期（77.5）を35.3ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、11業種全てがマイナスであり、中でも食料品、家具・装備品など3業種が50以下であった。前期比では、繊維工業、プラスチック製品など5業種がプラスとなった。

###### 非製造業

採算が「良くなった」企業は5.2%、「悪くなった」企業は58.4%で、採算DIは53.2となった。

前期（57.4）に比べ4.2ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。

また、前年同期（66.3）を13.1ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、7業種全てがマイナスであり、中でも不動産業、飲食店など5業種が50以下であった。

前期比では、運輸業を除く6業種がプラスとなった。

##### 来期（平成22年4～6月期）の見通し

当期と比べ、採算が「良くなる」見通しの企業は8.3%、「悪くなる」見通しの企業は44.3%で、来期の採算DIは36.1と見込まれている。

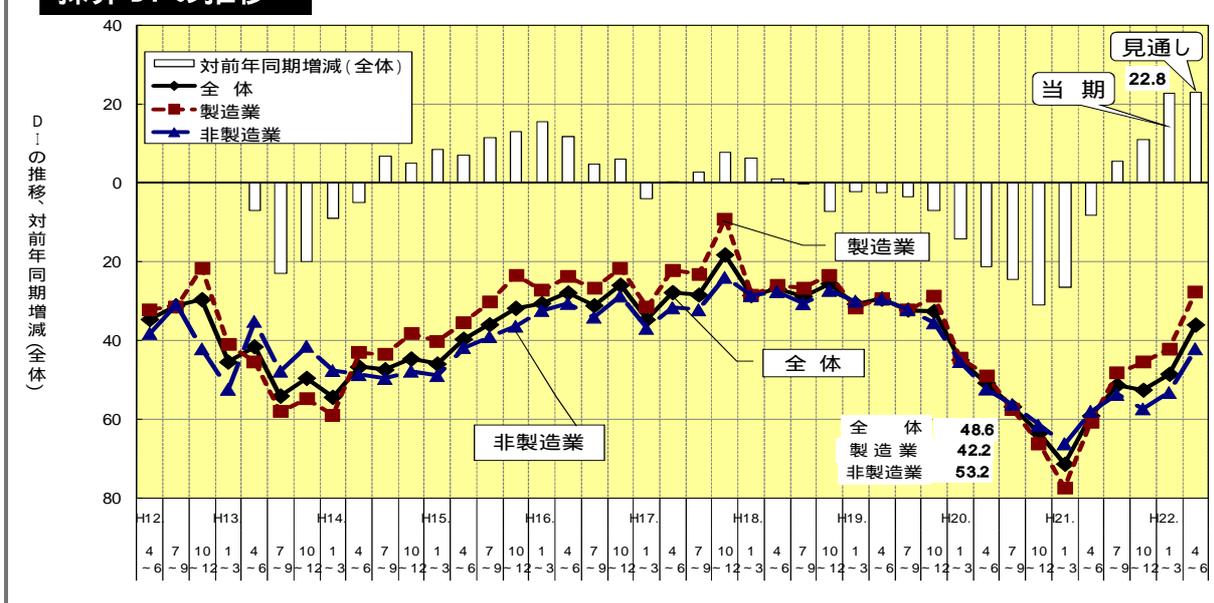
当期に比べると12.5ポイント改善する見通しである。

##### 業種別にみると・・・

製造業の来期の採算DIは27.8で、当期に比べ14.4ポイント改善する見通しである。

非製造業の来期の採算DIは42.1で、当期に比べ11.1ポイント改善する見通しである。

##### 採算DIの推移



## 採算D Iの推移

単位：DI

業 種	H21.	4～6月期	7～9月期	10～12月期	H22.	増減		H22.
	1～3月期				1～3月期 (当期)	対前期	対前年 同期	4～6月期 (見通し)
<b>全 体</b>	<b>71.4</b>	<b>59.2</b>	<b>51.4</b>	<b>52.6</b>	<b>48.6</b>	<b>4.0</b>	<b>22.8</b>	<b>36.1</b>
<b>製 造 業</b>	<b>77.5</b>	<b>60.7</b>	<b>48.3</b>	<b>45.6</b>	<b>42.2</b>	<b>3.4</b>	<b>35.3</b>	<b>27.8</b>
食料品	52.5	38.2	44.6	51.0	70.6	19.6	18.1	31.4
繊維工業	68.8	52.9	56.4	69.8	40.8	29.0	28.0	20.8
家具・装備品	73.9	71.4	68.9	68.3	68.9	0.6	5.0	40.0
パルプ・紙・紙加工品	74.6	64.4	50.9	43.4	48.3	4.9	26.3	13.1
印刷業	65.3	67.3	63.0	58.9	59.6	0.7	5.7	42.9
プラスチック製品	86.0	61.8	26.4	54.0	37.5	16.5	48.5	25.5
鉄鋼業・非鉄金属	96.4	57.9	28.6	22.8	24.6	1.8	71.8	21.4
金属製品	78.8	58.3	55.6	28.6	33.9	5.3	44.9	32.1
電気機械器具	75.9	73.0	47.6	45.3	35.8	9.5	40.1	30.4
輸送用機械器具	97.0	62.7	38.9	28.8	21.6	7.2	75.4	19.6
一般機械器具	77.5	60.3	53.1	43.3	30.6	12.7	46.9	29.5
<b>非 製 造 業</b>	<b>66.3</b>	<b>58.1</b>	<b>53.7</b>	<b>57.4</b>	<b>53.2</b>	<b>4.2</b>	<b>13.1</b>	<b>42.1</b>
<b>建 設 業</b>	<b>62.8</b>	<b>60.8</b>	<b>53.5</b>	<b>62.1</b>	<b>56.3</b>	<b>5.8</b>	<b>6.5</b>	<b>54.9</b>
総合工事業	67.3	53.3	57.7	72.0	52.2	19.8	15.1	54.3
職別工事業	59.4	78.7	57.4	66.0	60.4	5.6	1.0	52.8
設備工事業	62.5	50.8	45.8	50.0	55.9	5.9	6.6	57.1
<b>卸 売・小 売 業</b>	<b>65.7</b>	<b>60.4</b>	<b>52.7</b>	<b>55.2</b>	<b>53.1</b>	<b>2.1</b>	<b>12.6</b>	<b>36.8</b>
(卸売業)	61.5	60.3	44.6	46.1	46.8	0.7	14.7	34.5
繊維・衣服等	81.0	80.0	68.0	70.8	55.6	15.2	25.4	46.4
飲食品	42.9	34.5	25.0	20.0	38.5	18.5	4.4	11.5
建築材料・鉱物・金属材料等	56.0	64.3	45.8	38.5	44.4	5.9	11.6	29.6
機械器具	74.2	60.0	34.6	35.5	48.4	12.9	25.8	35.5
その他		68.4	53.8	72.7	46.4	26.3		48.1
(小売業)	70.2	60.5	59.5	62.5	59.1	3.4	11.1	38.9
織物・衣服・身の回り品	84.6	48.6	50.0	65.0	71.4	6.4	13.2	50.0
飲食品	77.8	50.0	70.0	55.3	62.5	7.2	15.3	35.0
機械器具	69.2	62.8	55.6	71.8	48.9	22.9	20.3	40.0
その他		78.4	64.3	58.1	58.3	0.2		33.3
<b>飲 食 店</b>	<b>74.5</b>	<b>68.4</b>	<b>71.4</b>	<b>69.8</b>	<b>58.5</b>	<b>11.3</b>	<b>16.0</b>	<b>47.5</b>
<b>情報サービス業</b>	<b>52.8</b>	<b>60.4</b>	<b>56.1</b>	<b>43.6</b>	<b>37.3</b>	<b>6.3</b>	<b>15.5</b>	<b>40.7</b>
<b>運 輸 業</b>	<b>85.2</b>	<b>57.1</b>	<b>53.7</b>	<b>24.5</b>	<b>45.5</b>	<b>21.0</b>	<b>39.7</b>	<b>18.6</b>
<b>不 動 産 業</b>	<b>71.1</b>	<b>62.2</b>	<b>46.7</b>	<b>74.0</b>	<b>63.0</b>	<b>11.0</b>	<b>8.1</b>	<b>50.9</b>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>65.3</b>	<b>49.0</b>	<b>52.3</b>	<b>62.1</b>	<b>53.7</b>	<b>8.4</b>	<b>11.6</b>	<b>41.4</b>
専門サービス業	73.2	60.0	55.6	61.1	33.3	27.8	39.9	49.1
洗濯・理美容・浴場業	66.7	29.8	61.5	75.5	77.8	2.3	11.1	40.9
その他生活関連・娯楽業		39.1	58.8	55.8	50.0	5.8		23.7
その他の事業サービス業	55.8	63.5	39.3	55.1	57.1	2.0	1.3	46.9

## 5 設備投資の動向について (集計表P38~P43参照)

### 当期(平成22年1~3月期)の状況

当期に設備投資を実施した企業は14.9%で、前期(15.1%)に比べ0.2ポイント低下し、2期連続で減少した。

内容をみると、「生産・販売設備」が28.7%で最も高い割合を占め、「情報化機器」が27.4%、「車両・運搬具」が26.5%で続いている。

目的をみると、「更新・維持・補修」が55.5%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が25.9%、「合理化・省力化」が19.5%で続いている。

### 業種別にみると・・・

#### 製造業

設備投資を実施した企業は15.7%で、前期(17.4%)に比べ1.7ポイント低下し、2期連続で減少した。業種別にみると、11業種中8業種が前期の実施率を下回った。

設備投資の内容は、「生産・販売設備」が50.0%で最も高い割合を占め、「建物(工場・店舗等を含む)」が22.0%、「情報化機器」が19.0%、「車両・運搬具」が17.0%で続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が50.5%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が26.3%、「合理化・省力化」が21.2%で続いている。

#### 非製造業

設備投資を実施した企業は14.3%で、前期(13.6%)に比べ0.7ポイント上昇し、2期ぶりに増加した。業種別にみると、7業種中4業種が前期の実施率を上回った。

設備投資の内容は、「情報化機器」、「車両・運搬具」が34.1%で最も高い割合を占め、「建物(工場・店舗等を含む)」が19.5%で続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が59.5%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が25.6%、「合理化・省力化」が18.2%で続いている。

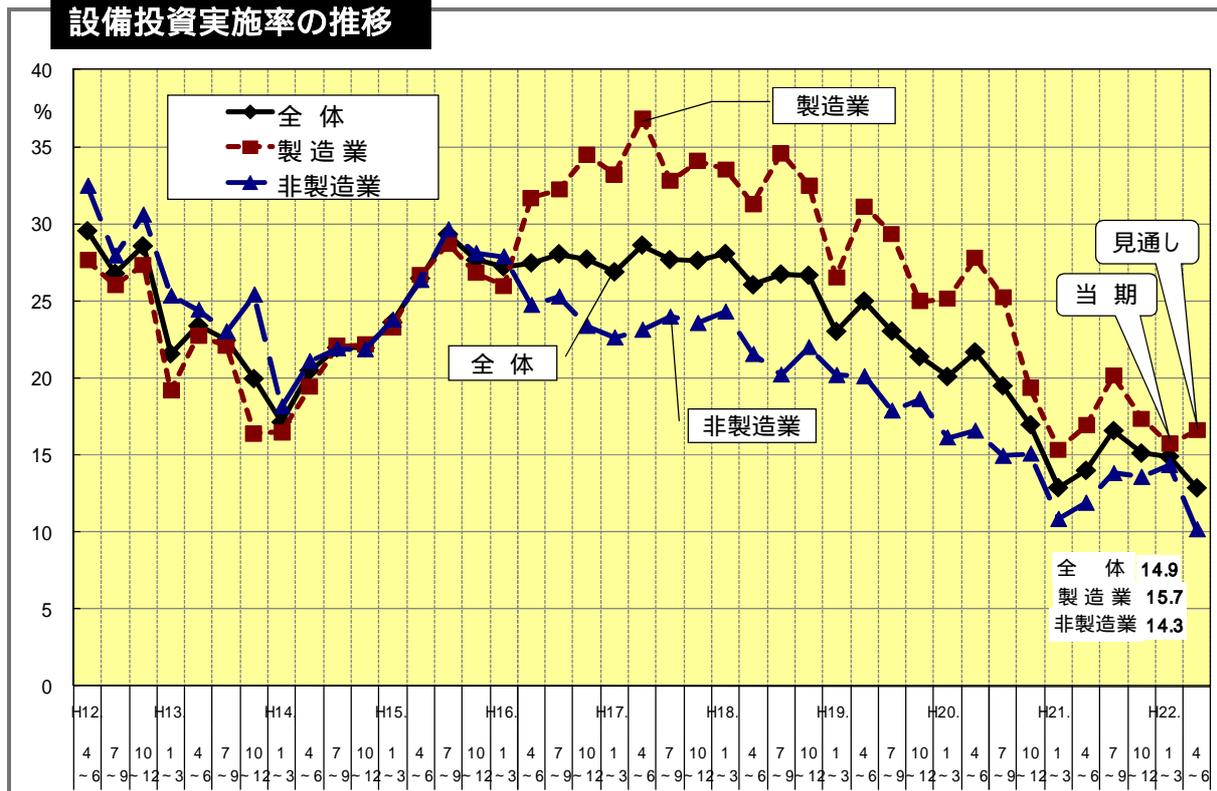
### 来期(平成22年4~6月期)の見通し

来期に設備投資を予定している企業は12.9%で、当期に比べ2.0ポイント低下する見通しである。

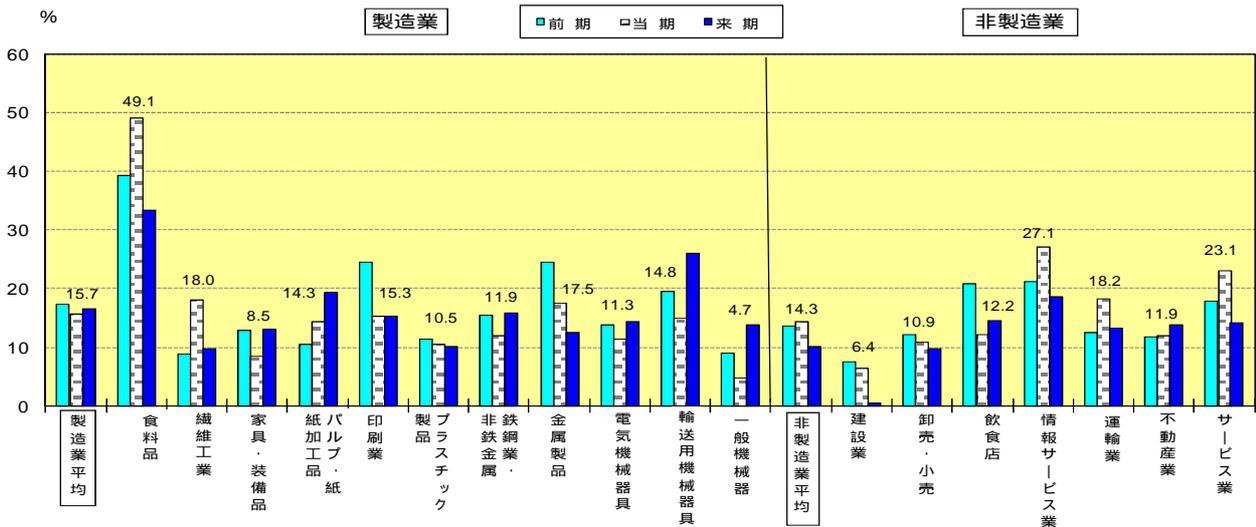
### 業種別にみると・・・

設備投資を予定している企業は、製造業で16.6%、非製造業で10.2%となっている。製造業は当期に比べ実施率が上昇するが、非製造業は低下する見通しである。

### 設備投資実施率の推移

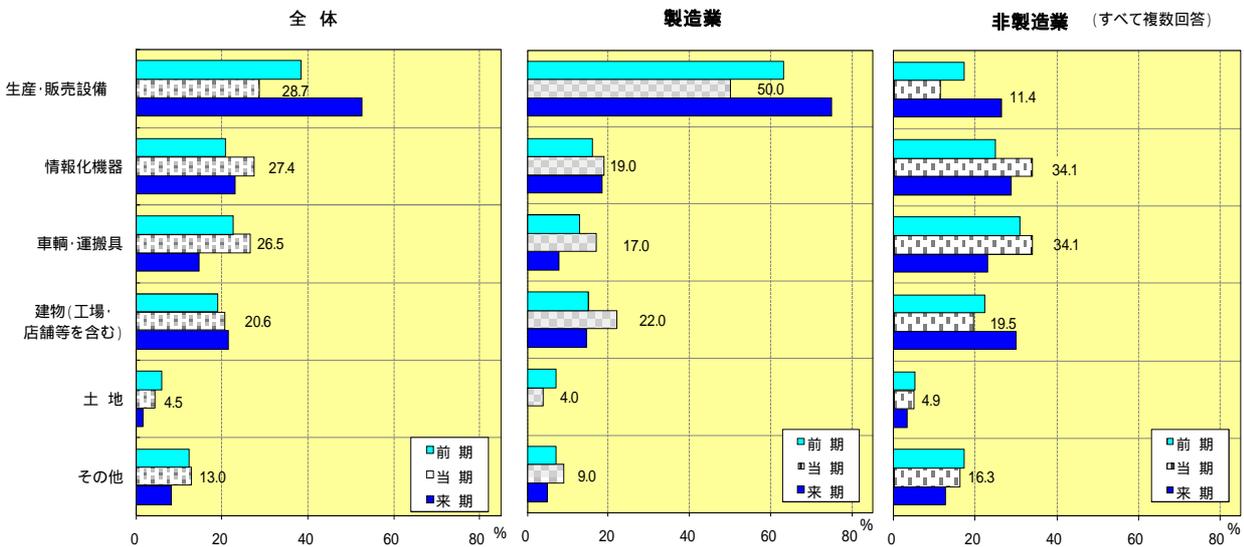


## 業種別・設備投資実施率



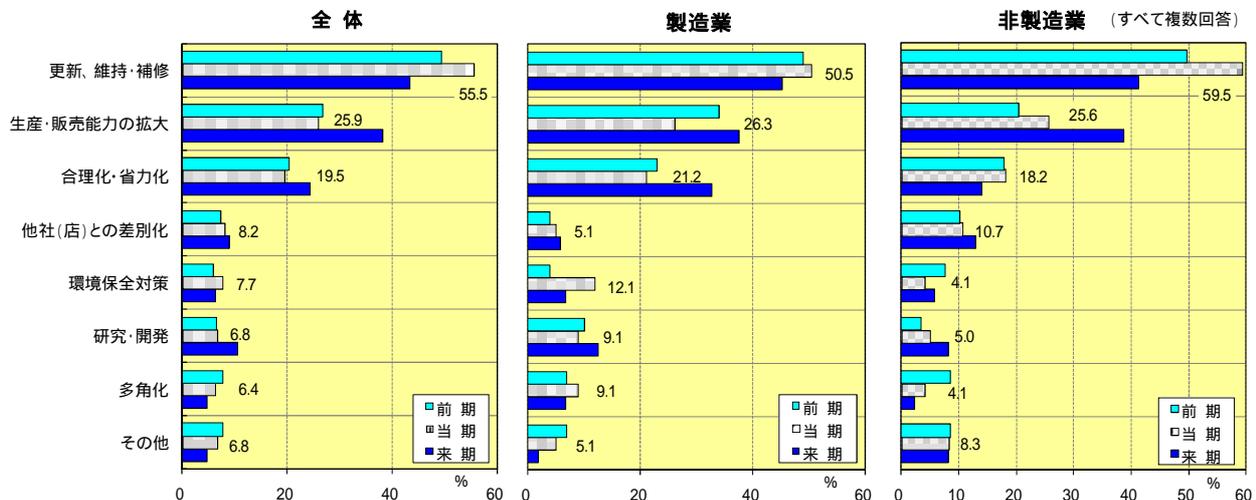
数値は当期の実施率。

## 設備投資の内容



数値は当期の実施率。また、生産・販売設備には、建設業の建設機械を含む。

## 設備投資の目的



数値は当期の実施率。